

氏 名	瀬 津 名 美 子
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 3062 号
学位授与の日付	平成18年3月24日
学位授与の要件	医学研究科内科系皮膚科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Interferon- γ -induced 15-lipoxygenase-2 expression in normal human epidermal keratinocytes, and a pathogenic link to psoriasis vulgaris. (ヒト表皮角化細胞におけるインターフェロン- γ による15-リポキシゲナーゼ-2発現と尋常性乾癬との病因的関連)
論文審査委員	教授 中山 睿一 教授 佐々木 順造 助教授 池田 正徳

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

表皮角化細胞には、アラキドン酸代謝産物であるヒドロキシエイコサテトラエン酸産生に関与する酵素 15-リポキシゲナーゼが発現している。15-リポキシゲナーゼには、15-リポキシゲナーゼ-1 と 15-リポキシゲナーゼ-2 の2つのアイソザイムが存在するがどちらの酵素が皮膚の炎症過程や増殖性皮膚疾患に重要な役割を果たしているかについてはわかっていない。インターフェロン- γ で処理した正常表皮角化細胞と HaCaT 細胞で、15-リポキシゲナーゼ-2 は発現が増強したが、15-リポキシゲナーゼ-1 に変化はなかった。一方同様の条件下で癌細胞株 A431 では、15-リポキシゲナーゼ-2 の発現に変化は認められなかった。*In situ* hybridization と免疫染色では、非乾癬病変部、表皮基底層部に弱く 15-リポキシゲナーゼ-2 の mRNA と蛋白の発現が見られた。乾癬組織では表皮全層に染色された。日光角化症と扁平上皮癌での発現パターンは一定ではなかった。以上の結果は、15-リポキシゲナーゼ-2 がインターフェロン- γ により誘導された炎症状態と、乾癬の病態に関係している可能性を示している。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、ヒト表皮角化細胞におけるインターフェロン- γ による 15-リポキシゲナーゼ-2 の発現増強を明らかにしたものである。さらに、乾癬組織でもその発現を明らかにしたが、この知見は、乾癬の病態解明に重要な示唆を与えるものであり、価値ある業績であると認める。よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。